

ぬち
「命どう宝」
をモットーに

現場の声を真っすぐ市政に

宮城さん、がんばって!

福祉も平和も憲法が国民に保障しているのです。その憲法が今根底から崩されようとしています。その黒い手は、最近地方議会にも及びつつあります。今度の選挙は大事な選挙です。私は弁護士としても、市民としても、憲法を守り貫く日本共産党の宮城とみ子さんを、今度も議会に押し上げなければならないと思っています。

弁護士 佐藤 鋼造


地域住民や患者さんの思いと心を長年理解し、寄り添ってきた宮城とみ子さんに、今後も活躍していただきたいと思い、推薦します。

船橋二和病院前院長 長谷川 純

高すぎる国保料

10年間、値上げを抑えてきました

高すぎる国民健康保険料に悲鳴が上がっていますが、議会で国保料の引き下げを要求しているのは日本共産党だけです。多くの自治体が値上げを行なうなかで鎌ヶ谷市ではこの10年間値上げを抑えてきました。その結果、1人当たり保険料は県内54市町村で低い方から9番目です。



学校の改善大きく前進

耐震改修を完了し エアコンも全ての教室に設置

小中学校の耐震化は公共事業の最優先課題と主張。エアコンの設置でも「温暖化で環境が限界を超えている。学習環境を整え学習に集中できるように」との声があがっていました。

日本共産党が4年前に行なった市民アンケートでは、子育て支援要望のトップは「子ども医療費助成の拡大」でした。県内では、女性団体の運動や日本共産党の議会質問で、千葉県の施策として入院で中学3年まで、通院で小学3年までの助成が実現。それに市が上乘せし多くの自治体で通院でも中学3年まで拡大していました。

鎌ヶ谷市は、通院を中学3年まで拡大した場合1億円を超える財源が必要だと実施を拒んできましたが、やっと、昨年4月から実現しました。

市や市議会の後ろ向きの市政をただし 中学3年まで医療費を無料化

みなさんの日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

市議会では、国民健康保険料や子ども医療費、介護保険など、みなさんからの声を市政に届けてきました。安倍政権の暴走に対決し、市民の税金は暮らし・福祉・教育最優先に使わせるよう全力でがんばります。



1951年東京都墨田区生まれ。青山学院大学文学部第2部卒。1982年より沖縄名護市に14年間在住。この間、学童クラブ指導員、ホームヘルパーなどに従事。鎌ヶ谷市議会議員3期。

日本共産党

宮城とみ子

安倍政権の暴走にモノ言える議会に

国民の意思に反して暴走をすすめる安倍政権。暴走にストップを求める市民の陳情に賛成を主張するのは日本共産党だけです。市議会はすべて否決。国にモノ言えない議会では困ります。

- 2014年6月 国に「特定秘密保護法の廃止を求める」陳情
- 2013年3月 国に「消費税増税中止を求める」陳情
- 2012年12月 国に「生活保護基準引き下げ反対求める」陳情

平成24年9月市議会 中3までの陳情を否決! 賛成は宮城議員だけ

「医療費の不安を取り除いてほしい」と新日本婦人の会鎌ヶ谷支部が提出した陳情。「市の財政状況を考えると、中学3年までの引き上げは難しい」などと述べ不採択に。陳情賛成者は宮城とみ子議員だけでした。行政の主張はうのみにし、市民の声は聞こえないのが議会の実態です。

かまがや民報

2015年2月号外【発行】日本共産党鎌ヶ谷市委員会
鎌ヶ谷市道野辺本町2-18-11 ☎047-446-0351
日本共産党鎌ヶ谷市委員会の政策を紹介します。